

学校だより

6月号



地域の宝を子どもたちと学習し未来へつなげる

校長 岡島 眞寿美

新緑が鮮やかな五月が過ぎ、あつという間に六月を迎えました。新年度がスタートして二ヶ月が経ち、子どもたちは新しい環境にもすっかり慣れ、日々の学習や行事に意欲的に取り組んでいます。また、子どもたちが、毎日の学校生活を通してさまざまなことを体験し、心身ともに成長の日々を過ごしていることを大変うれしく思います。

さて、五月十七日(土)に、當麻小学校は、創立百五十周年を迎えました。明治七年三月十日に学校が創立され、明治八年五月に小学校の名前が當麻小学校になってから、丁度、百五十年です。そして、十五日には、創立百五十周年記念事業の一つとして、航空写真撮影と中将餅配付を行い、創立百五十周年記念をお祝いしました。記念事業の前に、十四日の朝の会で、子どもたちに写真を見せながら、當麻小学校の歴史と一緒に振り返りました。伝統ある當麻小学校の話を聞いて、以前にも増して、子どもたちは、自分たちの学校に誇りをもつことができたようです。これからも、七千人以上の卒業生の方々や地域のみなさまから受け継いできた大切な當麻小学校を愛し、この當麻の地を大事にしながら歩んでほしいと思います。

そのために、今、子どもたちは、當麻にある素晴らしい歴史や文化を学び未来へつなぐ学習を行っています。子どもたちが住んでいるまちには、古(いにしえ)から伝えられ守られてきた、たくさんの方々の地域の宝があります。子どもたちが、実際に見学に行き、体験することで、地域の宝をまちの誇りと感じ、郷土を愛する心が育まれると考えています。これからも、保護者の皆様や地域のみなさまと共に、子どもたちの成長を願い、大切な地域の宝を、子どもたちに伝え学んでいきたいと思えます。

また、六月三日、十日、十七日には、二〇二五年日本国際博覧会大阪・関西万博に行きます。子どもたちが、未来社会を体感し、様々な分野のアイデアや技術に触れることで、将来の夢や可能性を広げるよい機会ととらえ、低学年・中学年・高学年に分かれて見学に行くことになりました。万博のテーマである「いのち輝く未来社会」をもとに、子どもたちが、どんなことを学んでくれるのか、とても楽しみです。十年後、二十年後、三十年後の子どもたちの未来に、この体験がいきることを、心から願っています。今後、子どもたちの成長のために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「航空写真撮影」「中将餅配付」(5月15日)

5月17日(土)に當麻小学校創立150周年記念をお祝いするのに、航空写真撮影と中将餅を配付しました。150周年、おめでとう、地域のみなさんありがとうございましたという気持ちを込めて、過ごすことができました。子どもたちが、20年後30年後に大人になってもこの當麻小学校を愛し、この當麻の地を大事にしながら歩んでほしいと思います。



二上山学習(5月13日)

5月13日(火)に、二上山学習を行いました。岳登りの日は、天候がよくなかったので、延期になり、13日に登りました。この日は、快晴でした。1年と6年、3年と4年、2年と5年がペアになって一緒に登りました。互いに助け合い協力して登ることで、絆を深めることができました。「いざ たいま」の合い言葉で集まっていたPTA役員・ボランティアの18名の方々も一緒に登っていただきました。二上山学習は、當麻小学校の子どもたちにとって、とても大切な行事の一つです。



1年生を迎える会(5月20日)

体育館で、1年生を迎える会を行いました。今年は、30名+くまさんも参加しました。あひるさんは、2年生のみんなと一緒に、1年生を迎えました。計画委員が、企画・準備、司会をして楽しく進めました。各学年の紹介の後に、1年生と他の学年が、ボールはさみりレー、じゃんけんりレー、風船運び、ボール送り、玉入れを行いました。交流が深まり温かい迎える会になりました。1年生を楽しませようと、様々なところで、活躍している子ども達の様子に、温かい気持ちになりました。全校の子どもたちの気持ちが一つになった素敵な1年生を迎える会でした。



(お知らせ)

吉野川分水の本通水が六月一日から九月二十日まで行われます。河川や水路の水量が増え、近寄ると大変危険です。近寄ったりいたずらをしたりすることのないように各ご家庭でもご指導ください。

〒六三九一〇二七三 奈良県葛城市染野三二番地

発行者 當麻小学校 校長 岡島 眞寿美

電話 〇七四五・四八・二〇五九

FAX 〇七四五・四八・七二二四

発行日 令和七年六月二日(月)

第396号